



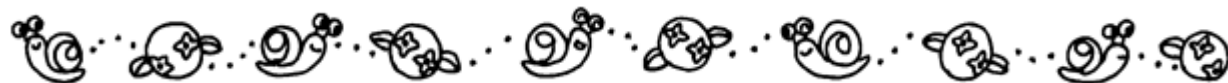
そろそろ、本格的な雨の季節ですね。雨が続くと気分はゆううつになりますが、そんな時はぜひ本を手にとってみてください。雨が降る日は絶好の読書日和。ゆっくりと本に親しむ時間はきっと、雨の日をすてきな気分に変えてくれるはずです。



人権のこと。

人権って何なのでしょう。それは人間らしく生きるために大切なもの。じゃあ、人間らしくってどういうこと？…と考えると難しいようですが、周りの人も自分も大切に思う気持ち、尊重する気持ちを持っていればきっと、自然と守ることができるのではないのでしょうか。図書委員会でも、おすすめの本を選んで紹介します。ぜひ本を手にとって、人権について考えてみてください。

図書委員のおすすめコメントとともに展示します！
見に来てね～。



★今月のおすすめ本★

人権に関するおすすめの本をご紹介します。

- 「かさをささないシランさん」 谷川俊太郎/出版社・インターナショナル 作
いせひでこ 絵

あるときある国に、シランさんという若者がいました。仕事はてきぱきとこなし、休みの日にはテニスを楽しみます。しかしある日、彼はとつぜん逮捕されます。その理由は、雨の日にかさをささないこと。みんなと違うことを考える人は敵なのでしょうか。人と違うことは罪なのでしょうか。あなたはどう思いますか？



- 「わたしのせいじゃない」 レイ・クリスチャン 文/ディック・スパーリ 絵

ひとりの男の子が泣いている。「休み時間にあったことだけど、わたしのせいじゃないわ」「大勢でやってたのよ、ひとりではとめられなかった」と、言い訳が続き…。 淡々と繰り返される「わたしのせいじゃないわ」から、深い思索の海へ誘う。無関心は無責任のはじまり。傍観することは、加担することと同じ。反対しないことは、賛成することと同じ。いじめ問題やその他の社会問題を考えるのに最適な絵本。



いろいろなジャンルの本
を読んでみよう！
新しい発見があるかも!?